



伊丹市立幼児教育センター通信

ときめき ひらめき

Vol 11 (令和4年12月)
発行:伊丹市立幼児教育センター
住所:伊丹市千僧1-1
電話:072-780-2488
アドレス:★新しくなりました★
youkyosenta@city.itami.lg.jp

★完成!「伊丹市 保育環境構成のてびき」

伊丹市の「幼児教育ビジョン」、及び「カリキュラム」を「環境の構成」の側面から、年齢ごとに写真で「見える化」した「伊丹市保育環境構成のてびき」が完成しました!!

完成版のデータは既にお送りしておりますが、できあがった冊子は今後、アドバイザー訪問等で、各就学前施設にお届けします。

★「てびき」こんな風に活用してみよう!!



子どもが『夢中になってよく遊び、よく考える』保育の環境を作るために・・・。

下記のように、①～③のサイクルを繰り返していく活用をおすすめします!また、一気に環境をガラッと変えるのは大変なこと。まずは、「写真のこれ、保育室においてみようかな」のように、小さなことから取り組んでみてください。

ポイント

クラスの子どもの実態や、興味関心に合わせる事が大切!

①真似てみよう

「これやってみたい」「これならできそう」という環境を真似たり、取り入れたりしてみよう。
「ことばを伸ばす環境は?」など、興味のあるキーワードのページから見て、取り入れてみるのも、おすすめ。

「てびき」の、「チェックリスト」「まとめ」のページ参照

③環境を再構成しよう

②で気づいた子どもの姿や、興味関心に合わせて、さらに環境を工夫してみましよう

②子供の姿をよく見てみよう

変えてみた環境に、子どもはどんなふうにかかわっているかな?という視点で見てみましょう。
子どもの変化(育ち)や、環境にさらに必要なものがだんだん見えてきます。

*環境の構成についてもっと知りたい!そんな時はセンターまでご連絡くださいね☺アドバイザーが相談に乗ります☺



★幼小接続の取り組み紹介

11月中旬、荻野小学校の1年生が生活科の学習で、「秋のパーティー」を企画し、地域の就学前施設の子ども達を招待してくれました。11日は、荻野保育所の子ども達が招かれ、アドバイザーも一緒に小学校へお邪魔しました。



ゲームや製作等のコーナーで、小学生と園児の豊かなかかわりがみられました

どんぐり転がしなどのゲームや、秋の自然物を使った製作コーナー等、保育所や幼稚園、こども園で楽しんでいたような遊びが、小学校の学習へつながっていることを実感しました。また、小学生に優しくかかわってもらいながら秋の遊びを満喫した子どもたちにとって、とてもよい刺激になりました。

どんぐりを並べて字を形作った、素敵な看板

荻野小学校は、隣のおぎの幼稚園とだけではなく、このように近隣の保育所や民間園にも積極的に情報発信やつながりづくりを呼び掛けてくださっています。

私たち就学前施設側も、「今、園所で子ども達が経験していること(遊びの中で何を学び、どのような資質能力が育っているのか)」を小学校に伝えていくことが求められます。例えば、普段、保護者へ配布しているクラスだよりを近隣の小学校へ送ることも、ひとつの方法です。

★センターの書籍 ご案内

「今日から実践 保育で取り組むSDGs」

新星出版社 秋山宏次郎 監修

*「そもそもSDGsってなに?」というところから、保育の現場で取り組む際のSDGsポイントまでわかりやすく解説。また、子どもに伝えるポイントも、具体的な声掛け例などの具体的なアドバイスが満載。コピーして使えるシアター用イラスト、保護者へのお便り文例など、付録もたっぷり。



「知らないトラブルになる! 配慮の必要な保護者への支援」

学研 西館有沙・徳田克己 著

*保護者対応の中で生じる

「どうして?」「なんで?」「どうしよう…」

には、解決策があります。

知識と技術を身に着ければこれらの悩みは軽減し、保育はより楽しくなり、保護者支援していくことができます。

☆ご紹介の専門書は幼児教育センターの貸本です。
是非お越しいただき、ご覧ください。